

## にぎわい

—日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信—

～会員だより～

### ○鳥取港の中国砂の輸入と港湾の活性化

鳥取の東部に位置する重要港湾「鳥取港」は、一級河川千代川の河口に位置する港で、右岸側には鳥取県の有名な観光地である鳥取砂丘が隣接して広がっています。

”砂”と言えば、最近、瀬戸内海でも過剰採取が問題となるなど、全国的な砂の不足が顕在化していますが、鳥取県においても砂の枯渇が問題となってきています。鳥取砂丘を有し、砂が豊富なのになぜ？・・・と思われる方も多いと思いますが、周辺の砂についても採取地は限られ、環境面からも採取が難しくなっているのです。そこで目を付けたのが中国大陸の”砂”でした。

特に、生コン用細骨材としての砂の将来的な不足に対応するため、平成8年に、鳥取県と鳥取地区生コン協同組合等が官民一体となった視察団を中国福建省に派遣し、品質・粒度等の確認を行った後、試験的に砂の輸入を始めました。その後も継続して官民一体となったポートセールスを行い、合わせて4回の訪中と2回の中国側の訪日により、砂の安定的な輸入や帰り荷等の協議を行うと共に、将来に亘る両地域間の相互の友好と信頼関係の基礎となる人的交流にも努めてきました。この間、中国砂の輸入は不定期ですが継続して行われ、鳥取港の取扱貨物量の増加に貢献したわけですが、それ以上に貢献したのは、この中国砂が地元業者に海運メリットを認識させるきっかけとなったことです。これにより、長崎県・福岡県・山口県・兵庫県・京都府などの日本海側地域との間で、砂・碎石・捨石の移出入が活性化し、中国以上に取扱量が増加したことが平成9年の取扱貨物量の著しい増加につながりました。

今後とも鳥取港の活性化に努力していきたいと思いますが、その昔、日本海を渡って行われた大陸との交易や、北前船で各地を結び行われた国内交易のように、本協議会を中心とした日本海側の交流がますます発展し、日本海新時代の到来を一日も早く実現させたいものです。

（鳥取県土木部港湾課 貴谷暢夫）

## ○境港市からの近況報告

「日本海にぎわい・交流海道推進協議会」総会の翌日に視察して頂いた「山陰・夢みなと博覧会」は、平成9年9月28日に79日間の会期を終え閉幕いたしました。博覧会入場者数は約193万人を記録し、当初の予想（100万人）を大きく上回る方に博覧会を楽しんで頂きました。また、多くの方に環日本海交流時代の到来を共感して頂けたと思います。



交流の海と環日本海交流村

その博覧会跡地は、現在、環日本海交流時代における西日本の貿易・交流の拠点として整備されているところです。

博覧会時、対岸諸国の歴史や物産を展示する環日本海交流村に使われた倉庫は、冷蔵倉庫などに改造され物流支援施設として活用されます。また、博覧会のシンボル施設だった「夢みなとタワー」は次のとおり整備されます。

1階 古い町並みを再現した物産観光センター「みなとまち商店街」  
輸入品販売のFAZ展示・物産コーナー

2階 FAZ関連オフィス 会議室

3階 環日本海研究室 大型シアター

4階 「夢みなと交流村」 対岸諸国の特産品、文化、生活習慣の紹介  
タワー展望室

日本海、白砂青松の弓ヶ浜、大山などが一望できる展望室と、  
シーフードレストラン

博覧会場周辺は、美保湾が展望できる「みなと温泉館」、潮風が吹き抜ける憩いの「緑地公園」が整備されます。

また、新鮮な日本海の魚介類の買い物が楽しめる「境港お魚センター」も8月にオープンする予定です。

ポスト「夢みなと博」に取り組む境港は、環日本海時代における西日本の交流拠点を目指し大きく動き始めています。

また、「夢みなと博」跡地は山陰の新しい観光スポットとして、魅力あるものに生まれ変わりました。山陰にお越しの際は是非足を延ばし、境港市にお立ち寄り下さい。  
(境港市産業環境部 阿部英治)

～紹介～

○瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内海沿岸に位置する各市町村（11府県187市町村）が一同に会し、新たな文化の創造、観光・レクリエーションの振興、生活環境の拡充を図ることに  
より、瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として、平成3  
年5月に設立されました。

これまでの活動として、次のようなものが上げられます。

・リフレッシュ瀬戸内

美しい瀬戸内海を守ることを広く人々に訴えると共に、瀬戸内海全体の海岸  
と海域で一斉に清掃活動をする活動で、平成5年度より実施している。

・機関誌の発行

協議会の活動内容を紹介する機関誌「海の路」を発行。（現在10号作成中）

・FAX通信

当協議会内の情報交換を目的に”瀬戸内ほっとニュース”と題し月毎に発行。

～編集後記～

昨日、今日と暖かい日が続き、少しずつ春に近づいているようです。さて、今月  
号は三建の担当ということで、三建管内の会員の皆様に情報提供をお願いしまし  
た。また、本協議会と兄弟！？とも言える「瀬戸内・・・協議会」の紹介をさせ  
て頂きました。”瀬戸内ほっとニュース”と競い合い、より「にぎわい」のある  
紙面となるよう、他管内の発行担当号についても積極的に情報提供を行っていけ  
ればと考えています。

編 集

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

第三港湾建設局 広域連携推進室 TEL 078-325-8288

FAX 078-391-8361